煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

秋の行楽期における山岳遭難の防止
～登山をする際に気を付けること～

安全で楽しい登山をするために

◎ 登山の第一歩は、目的とする山をよく理解することからはじまります。ガイドブック等で事前に山岳情報をよく調べましょう。

◎ 登山計画書を作成して、パーティ全員がその山をよく理解するとともに、体力と経験に応じた無理のない計画であるかよく検討しましょう。

◎ 登山計画書は、各都道府県の提出先や登山口にある投函箱等に提出しましょう。

1 神奈川県内の山へ登る際

○ 山岳を管轄する警察署（交番・駐在所を含む）及び登山口に設置された登山計画書投函箱のほか、警察本部地域総務課へ郵送やＦＡＸでも受け付けています。

○ 神奈川県警察ホームページからオンラインによる提出も可能です。

左のＱＲコードから神奈川県警察のホームページに掲載されている「登山計画書届出フォーム」に接続できますので活用してください。

http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm

2 神奈川県外の山へ登る際

登山計画書の提出が義務化されている山域もありますので、あらかじめ調べておきましょう。

◎ 単独登山はやめて仲間と登り、救急用品や非常食等を必ず携行してゆとりある行動を心がけ、安全な登山をしましょう。

◎ 携帯電話等の通信機器を準備し、電池切れに備え予備バッテリーを携行して登山をしましょう。

◎ 登山前に目的とする山の気象状況や火山情報等を入手し現地の状況を把握しておきましょう。

児童虐待の早期発見・早期通報に御協力を！

児童虐待は、児童の人権を著しく侵害し、その心身の成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼす行為です。

児童虐待の対応件数は増加傾向にあり、子供の生命が奪われるという重大事案も発生しています。

警察では、児童虐待対策について、子供の生命・身体を守ることを最優先とした活動を行っています。

児童虐待から子供を救うには、子供の思いに気づき、児童虐待を受けたと思われる子供がいたら早期の通報をお願いします。

あなたの子供たちを救います。

11月は、内閣府が主唱する「子供・若者育成支援強調月間」、厚生労働省及び内閣府が主唱する「児童虐待防止推進月間」にそれぞれ指定されています。

◎ 児童虐待とは・・・

保護者が、監護する18歳に満たない子供に対して

1 殴る、蹴る、激しく揺さぶるなどの暴行を加えること。【身体的虐待】

2 わいせつな行為をしたり、させたり、見せたりすること。【性的虐待】

3 食事を与えない、風呂に入れない、病気になっても病院に連れて行かないなど、保護者としての監護を著しく怠ること。【ネグレクト】

4 子供の目の前で家族に対する暴力（ＤＶ）を行う、言葉で脅す、無視をするなど、著しい心理的外傷を与えること。【心理的虐待】

◎ あなたの身近なところで、こんな子供はいませんか？

○ 身体に不自然な傷やアザがある。
○ 着衣や髪の毛がいつも汚れている。
○ 食事を与えられていない。
○ 頻繁に怒鳴られ、ひどく泣いている。
○ 夜遅くまで１人で遊んでいる。

◎ 児童虐待かもしれないと感じたら、迷わず連絡してください！

「児童虐待を受けたと思われる児童」を発見した者は、児童相談所等に通告しなければなりません（児童虐待の防止等に関する法律第６条）。

児童虐待かもしれないと感じたら、児童相談所全国共通ダイヤル「１８９番」に連絡をしてください（１８９番にかけると最寄りの児童相談所につながります。 なお、緊急の場合は１１０番通報してください。）。

警察本部「子ども安全110番」で24時間児童虐待の情報提供を受け付けています。

０１２０－６０４－４１５

事件記録板

９月中旬から１０月中旬までの事件は、

・10 月下旬、下煤ヶ谷地区で夜間不在の事務所で窓ガラスが割られ侵入され現金が盗まれる事件が発生しました。
・県内では、相変わらず振り込め詐欺が発生しています。ご注意ください。
・交通関係では、煽り運転が問題となっていますが、後方にもドライブレコーダーを付けることで防げる可能性があります。装着をお勧めします。

駐在所の独り言　～自己啓発にも偏りすぎに注意！！～

最近、本屋に行くと自己啓発に関する文庫本が店頭に並べられています。自己啓発は、自分の知識、能力、技術経験をもとに自発的に向上させる事ですが、そうした本の中にベストセラーの人気本も複数存在するようです。また自己啓発セミナーも人気で、数十万円の高額な参加費用を払い、それでも満席状態になっている会場もあるようです。更にセミナーが終わってからＣＤやＤＶＤが販売され、多くの参加者が購入するようです。これを聞くと、ちょっと疑問も感じるんですね。まるで催眠商法やマインドコントロールされていないかなど心配もあります。全てがそうでないかもしれませんが、でもこうした本やセミナーが人気の背景には、それだけ多くの人が悩み、今の仕事に行き詰まり、高い能力を身に付けたいとか、大きな成功をしたいとか、希望を持ちながらも悩み苦しみながら、藁をも掴む思いで必死になってこうした本やセミナーを聞いているのかもしれません。人の弱みに付け込んだセミナーでない事を祈るばかりです。実際にこの自己啓発本を読んでみると、自分らしさ、社会貢献、モチベーションなど素晴らしく綺麗な言葉を並び立て、「自信を持つ事」から「行動する事」が強調されているんですね。きっと行き詰った人には心の中にすっと入ることでしょう。でも冷静な人には恐らく届かないと思いました。つまり簡単に自信を持てなんて簡単に言って欲しくないし、無責任な印象すら感じます。自信を持つ為にはその裏付けが必要ですし、根拠が必要です。こうした自己啓発本を全てを否定するものではありませんが、中には数十冊を購入する人がいるとの事ですが、１冊か２冊読むだけで十分かと思います。多くの本を集めることやセミナーに参加して満足していては、何ら解決にはならないと思うんですよね。巧みな言葉にも騙されず、自分を見失うことなく冷静な判断が出来るよう、また振り込め詐欺等の特殊詐欺、反社会的団体等の勧誘などにも騙されないよう、自分磨きをして欲しいと思います。